

いろいろな使いかた

その他設定

便器の水まり面を下げる
(水の跳ね返り低減や検便のときなど)
水面下げる

便器とウォシュレットの水を
一定の間隔で自動で流す
凍結防止

電子音を
鳴らす/鳴らない
電子音

- 1 メニュー/戻る
MENU/RETURN 押す
- 2 で「その他設定」
を選ぶ

- 3 で「水面下げる」
を選ぶ

その他設定 1/9
1. 水面下げる
2. 凍結防止 切
◆で選ぶ⇒【●決定】押す



便器内の水が流れ
低い水位でたまる

〈設定完了〉
(戻るとき→ MENU/RETURN)

お知らせ

- ・検便時に使用するときは「オート便器洗浄」を「切」にしてください。(P.30)
- ・便器洗浄すると、通常の水面の高さに戻ります。
- ・水面を下げる場合に、都度設定してください。

- 3 で「凍結防止」
を選ぶ

その他設定 2/9
1. 水面下げる
2. 凍結防止 ◀切▶
◆で選ぶ⇒【●決定】押す

- 4 で「入/切」
を選ぶ

「入」に設定する場合>
設定すると約10分間隔で便器洗浄して凍結を防止します。

その他設定 2/9
1. 水面を下げる
2. 凍結防止 ◀入▶
◆で選ぶ⇒【●決定】押す



数分間隔で
便器洗浄します
設定する?
◆で選ぶ⇒【●決定】押す



- 3 で「電子音」
を選ぶ

その他設定 3/9
2. 凍結防止 切
3. 電子音 ◀入▶
◆で選ぶ⇒【●決定】押す

- 4 で「入/切」
を選ぶ

その他設定 3/9
2. 凍結防止 ◀切▶
3. 電子音 ◀入▶
◆で選ぶ⇒【●決定】押す



電子音を
切に設定しました
(戻るとき→ MENU/RETURN)

凍結防止を
入に設定しました
(戻るとき→ MENU/RETURN)

汚物が流れにくいとき
**便器洗浄水量
6Lモード**

汚物が流れにくいとき
**便器洗浄水量
8Lモード**

「故障かな?と思ったら」の「汚物がきれいに流れない」(P.65、66)の内容をご確認のうえ、必要な場合のみ設定を行ってください。

「便器洗浄水量8Lモード」に設定している場合は、8Lモードの設定を解除してから行ってください。

「便器洗浄水量6Lモード」に設定している場合は、6Lモードの設定を解除してから行ってください。

- 1 メニュー/戻る
MENU/RETURN 押す

- 2 で「その他設定」
を選ぶ

- 3 で「便器洗浄
水量6Lモード」
を選ぶ

その他設定 5/9
4. 便器洗浄位置記憶
5. 便器洗浄水量 6L モード
◆で選ぶ⇒【●決定】押す

- 4 押す

押すたびに切り替わる
便器洗浄水量を6 Lに変更
「する」とき
「しない」とき



床排水の場合は洗浄水量が、大3.8 L/小3.0 L
→大6.0 L/小5.0 Lになります。
(壁排水の場合は、大4.8 L/小3.4 L
→大6.0 L/小5.0 Lになります。)

- 3 で「便器洗浄
水量8Lモード」
を選ぶ

その他設定 6/9
5. 便器洗浄水量 6L モード
6. 便器洗浄水量 8L モード
◆で選ぶ⇒【●決定】押す

- 4 押す

押すたびに切り替わる
便器洗浄水量を8 Lに変更
「する」とき
「しない」とき



床排水の場合は洗浄水量が、大3.8 L/小3.0 L
→大8.0 L/小6.0 Lになります。
(壁排水の場合は、大4.8 L/小3.4 L
→大8.0 L/小6.0 Lになります。)

こんなときは

製品内に記憶されている「スマートフォンとの通信設定と計測データ」をすべて削除したいとき

引っ越しや製品を廃棄する場合など、製品内に記憶されている「スマートフォンとの通信設定と計測データ」をすべて削除したいときは「ペアリング初期化」を行ってください。(P.43)

お知らせ

- ペアリング初期化を行うと、登録されている全員の「スマートフォンとの通信設定と計測データ」が削除されます。
- 特定の個人番号情報のみ削除したい場合は、サポートページ(P.16)のヘルプを参照してください。

凍結予防をするとき

外気温が0°C以下になるとときは、凍結予防を行ってください。

- 便器の種類によって凍結予防のしかたが異なります。便器の種類に合わせて、作業してください。

お願い

- 外気温が0°C以下になるとときは、節電しないでください。(製品が破損するおそれ)
- 周囲の温度が0°C以下にならないよう、トイレ内を暖めるか、凍結予防を行ってください。
- 作業前に、「オート便器洗浄」(P.30)「オートふた開閉」(P.32)を「切」にしてください。

流動方式(ヒーター付便器・水抜併用方式以外)

便器とウォシュレットの水を、一定の間隔で自動で流して、凍結を予防する方法です。

■設定のしかた(P.38)

- リモコンで「凍結防止」を「入」にしてください。

凍結防止中は、次のように作動します。

- 「運転」ランプが点滅する
- 約10分間隔で便器洗浄(約4.8L)する
- 約50mlの水が約5分間隔でノズル付近から出る(ノズルは収納したまま)



約10分間隔で
便器洗浄

約5分間隔でノズル
付近から水が出る

ヒーター付便器・水抜併用方式

1 水抜栓を操作して、給水を止める

お願い

- 止水栓は開けたままにしておいてください。(製品内部の水が抜けずに凍結破損するおそれ)



2 ノズルきれい WAND CLEAN 押す

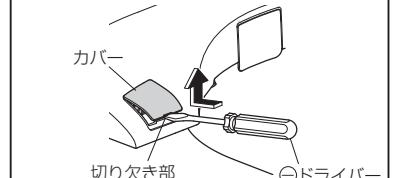
- 給水管の圧抜き

3 電源プラグを抜く

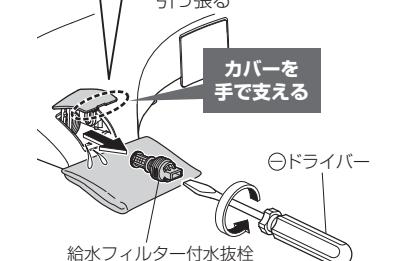
4 配管の水を抜く

- 便座・便ふたを開ける

②カバーの切り欠き部に \ominus ドライバーを差し込んで開ける



③給水フィルター付水抜栓を \ominus ドライバーでゆるめて、引っ張る



必要なとき

こんなときは

凍結予防をするとき

ヒーター付便器・水抜併用方式 (つづき)

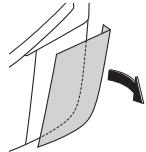
5 給水フィルター付水抜栓を取り付け、カバーを閉める

- ①給水フィルター付水抜栓を押し込み、
②ドライバーで確実に締める



6 電源プラグを差し込む ・「運転」ランプが点灯する

7 すっきりパネル(右)を取りはずす



8 タンクの水を抜く

- ・すっきりパネル裏面のラベル
「タンク内水抜き作業手順」参照

9 便座温度を「高」にする (P.22, 23) ・保温のため、作業後は便座・便ふたを閉めておく

■再度ウォシュレットをお使いになるときは
・再通水が必要です。(P.62)

(お知らせ)

- ・ヒーター付便器は室温が5 °C以下になると自動でヒーターが入ります。
- ・凍結のおそれがないときは、ヒーター付便器の電源プラグを抜いておいてください。

長期間使わないとき

別荘などのトイレを長期間使わないときは、水抜きをしてください。

(製品内の水が腐敗して皮膚の炎症などを起こす原因)(凍結して製品破損などを起こす原因)

(お願い)・凍結のおそれがあるときは、凍結予防を行ってください。(P.59)(製品が破損するおそれ)

(ご注意)・「お掃除リフト」(P.47)で本体が上がった状態での水抜きはしないでください。

水抜きのしかた

1 ■流動方式(ヒーター付便器・水抜併用方式以外)のとき 止水栓または元栓を閉める (P.4)

■ヒーター付便器・水抜併用方式のとき
水抜栓を操作して、
給水を止める (P.59手順①)

(お願い)

- ・止水栓は開けたままにしておいてください。

2 を押してタンクの水を抜く※1

3 押す (給水管の圧抜き)

4 電源プラグを抜く

5 配管の水を抜く (P.59, 60手順④⑤)

■凍結のおそれがあるときは

- ・便器のたまり水(封水)に不凍液を入れるなどして凍結しないようにしてください。
(不凍液はそのまま流さず、使用前に回収し、廃棄処分してください。)

■再度ウォシュレットをお使いになるときは
・再通水が必要です。(P.62)

*1 「便ふた閉止後洗浄モード」を「入」に設定しているとき、便ふたが閉まったあと便器洗浄します。